

2024 年 7 月 9 日
技術者倫理レポート

自分の会社の不正を告発する

情報経営システム工学分野 B3

学籍番号 : 24336488

氏名 : 本間三暉

1 はじめに

会社の不正を告発することは、倫理的な義務と同時に大きなリスクを伴う行動である。不正を見逃すことは会社の存続に悪影響を及ぼし、社会的責任を果たせないことになる。しかし、不正を告発することにより、自分自身のキャリアや生活に悪影響を及ぼす可能性もある。ここでは、告発を行う際の手順と戦略について述べる。

2 自分のタイプとその理由

私は凡人であると自認している。その理由は、自分の能力や知識は平均的であり、特に突出した才能や能力を持っていないからである。しかし、努力と協力を重んじる姿勢から、チームとしての活動において貢献できると考えている。

3 選ぶべき仲間とその理由

仲間を選ぶとしたら、秀才と天才の二人を選ぶ。秀才は、知識と技術に長けており、論理的かつ実務的なアプローチで問題を解決する能力がある。彼は不正を告発するための具体的な証拠を集めるのに適している。一方、天才は創造的な発想と卓越した分析力を持っており、問題の根本原因を見抜く力がある。彼は告発の計画を立案し、成功に導くための戦略を提供することができる。

3.1 チームの役割

チームの役割を以下に示す。

- 自分（凡人）：証拠の収集と整理を担当する。秀才や天才が見つけた情報を基に、具体的な証拠を集め、整理する役割を果たす。
- 秀才：証拠の分析と法的な準備を担当する。法律に詳しく、適切な手続きを踏むための助言を提供する。
- 天才：告発の戦略とプレゼンテーションを担当する。創造的なアプローチで問題解決に導き、最も効果的な方法で告発を行う計画を立てる。

4 自分の不利益を最小化する作戦

- 匿名性の確保：可能な限り匿名で告発を行う。内部告発用のホットラインや第三者機関を利用する。
- 証拠の確保：告発に必要な証拠を十分に集める。信頼性のある証拠を持つことで、告発の正当性を示す。
- 法律の理解：労働法や内部告発に関する法律を理解し、自分の権利を守る。
- 支援を得る：信頼できる同僚や弁護士の支援を得る。個人の力だけではなく、チームで行動することが重要。
- リスク評価：告発のリスクと利益を評価し、最悪のシナリオに備える。事前に退職を視野に入れた準備を行うことも考慮する。

5 結論

会社の不正を告発することは簡単な決断ではないが、倫理的な責任を果たすためには重要な行動である。凡人である私が選んだ仲間の秀才と天才と共に、戦略的に告発を行い、自分自身の不利益を最小限に抑える方法を取ることで、社会正義を守ることができると思っています。